

2019（令和元年度）自己評価

学校法人扇町同胞学園

扇町同胞幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教精神に基づきそれぞれの年齢にふさわしい集団と環境の保障に配慮し、「遊び」を中心とした子どもの主体的、能動的な生活を促し、家庭と協力しながら人格形成の基礎を培う。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

主体的に環境にかかわり、いきいきと遊ぶ子どもに育てる。

- ・就学前教育カリキュラム（大阪市子ども青少年局 保育・幼児教育センター作成）を活用する
- ・保育内容および環境設定を検討する
- ・保育日誌の記録方法を検討し、保育の学びを深める
- ・園内研修を充実し、保育の質の向上を図る

防災・防犯・安全についてのマニュアルを共有、意識を高め、避難訓練を実施する。

- ・避難マニュアルについて教師間で検討、共有する
- ・避難訓練を実施する
- ・防災、防犯、安全、衛生について意識を高め、家庭との連携を深める

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教職員の資質、および指導力の向上を計る ・教師の研修	・2019年度（令和元年度）は大阪市保育・幼児教育センターの就学前教育カリキュラムパイロット園所として、これまでの保育計画、実践について考察し、「保育研究」として、取り組みを進めることを教師間で共有した。
・就学前教育カリキュラムの活用	・就学前教育カリキュラムと参考事例集から学年ご

	<ul style="list-style-type: none"> ・他園からの参加者を招くことにより、日々の保育の環境設定や教師のかかわりのほか、安全、清潔など多面的な視点から「保育」の現場を見つめ直す機会となった。 ・パワーポイントを用い、各クラスが研究発表を行った。研究記録として保育についてまとめることができたこと、発表する機会が与えられたこと、教職員全員で研修に取り組むことができたことは、今後の保育の充実に向け、意欲を持って取り組もうとする教師各々のスキルアップに繋がった。
<p>防災・防犯・安全, 衛生について意識を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ AED の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防署より 2 度来ていただき、避難訓練を実施した。火災時の状況や避難場所、避難の方法について教師間で共有し、子どもたちと避難訓練を実施した。 1 回目：保育室から園庭へ 2 回目：幼稚園から園外へ 子どもたちは消防署員より大切な命を守るために安全な避難の方法と子どもたちが日々注意することについて話を聞くことができた。 ・ 園内に AED を設置し、消防署員による救急救命講習会を実施した。AED の操作等について教職員全員で学ぶことができた。 ・ 津波時の避難場所に指定されている天満中学 4F への避難訓練を実施した。 防災頭巾を被り、静かに速やかに避難する訓練を実施した。

<ul style="list-style-type: none"> ・安全教室の実施 ・日々の取り組み ・その他 ・家庭との連携と協力を密にする 保護者会の開催 クラス懇談会の開催 ・保育参加 ・コンサート、人形劇鑑賞の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署による安全教室を実施した。交通安全と防犯について話を聞き、子どもたちがわかりやすく安全についての意識を高め、自ら身を守ることの大切さについて考えることができた。 ・地震や台風について、テレビなどで見聞きしたことを子どもたちと話し合い、訓練について怖がらず、慌てず、落ち着いて行動するよう、折に触れて伝えることができた。教師の話をよく聞き、安全に待機、行動する訓練を実施した。 ・砂塵防止のため園庭の土質改良工事を実施した。砂塵による子どもたちの健康に配慮し、飛砂防止剤を定期的に散布した。 ・各学期に2回ずつ計6回の保護者会を実施した。幼稚園の教育目標を伝えるとともに、保育内容や行事の目的、意味について伝え、教育内容の理解をしていただいた。2月末以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園となったが、クラスごとに保護者会を行うことができた。 ・クラス懇談会を2回実施した。クラスの様子を伝え、保育のねらいや子どもの成長、課題について担任と保護者間で話し合いを持つことができた。 ・1学期に1回、保育参加を実施した。子どもたちと保育室で過ごし、日々の活動の様子を見ていただき、保育内容や子ども理解の機会となった。 ・1学期、パーカッションとピアノのコンサートを実施した。2学期には人形劇を父母の会と共催し、保護者や弟、妹たちも参加し楽しい時間となった。
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 父母の会幹事との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラスの幹事（9名）と、月毎に幹事会を持つことができた（10回）。幼稚園と連携を深め、保護者全員が運動会、フェスタ、クリスマス、ベルマークの4チームに分かれ、行事の企画、参加、協力をしていただいた。チームの活動の参加は保護者の交流の良い機会となった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真だよりの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の「幼稚園だより」に加え、子どもたちの幼稚園での姿を撮影し、「写真だより」として配布した。第5号まで発行し、日々の保育や行事の中で子どもが楽しむ様子、季節の中で取り組む活動を伝え、子どもたちの成長や保育を視覚的に理解していただけるように努めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が年間のカリキュラムを作成し、毎月の保育のねらいや活動の流れを共有し、行事や日々の保育をすすめることができた。 ・ 就学前教育カリキュラムのパイロット園所として研究と公開保育の実践に取り組んだ。教育要領、就学前教育カリキュラムに照らし保育を計画、実践、考察を重ねることができた。 ・ 教職員は園内、園外の研修会に積極的に参加し、幼児教育についての視点や保育技術の学びを深め子どもの姿を観察し、子どもの興味、関心に寄り添い、伸びようとする子どもたちの心を見据えた保育内容について考え、次へと繋ぐことができた。 ・ 防災、防犯、安全、衛生については意識を持ち、継続的にとりくむことの大切さを実感した。想定外の出来事についての対応も増加しており、教職員で情報や知識を共有し、今後いっそう子どもの安心、安全な保育環境づくりに努めていくことが必要である。
--

5、今後取り組むべき課題

<p>安全・衛生管理</p> <p>・保育技術の充実</p>	<ul style="list-style-type: none">・火災時や不審者侵入時のほか、地震等の災害時に職員の迅速な行動について確認、常に意識を高める。飲料水、備蓄物、避難用品を定期的に確認する。・園舎、遊具の危険場所、部分の破損等について点検し、安全についての意識を高める。園庭、園舎、保育室内環境の清掃や消毒の方法を共有し、整理整頓、清潔を心がける・保育の写真の整理や家庭への手紙、研修のまとめなど PC を用いて整理、共有できる効果的な使用方法について学び、保育の充実に図る。
--------------------------------	--

6、学校関係者評価

学校評価委員会を開催し、令和元年度の評価項目について話し合い、検討した。評価項目は1、園庭、保育室等の健康環境整備・2、防災、安全管理・3、教職員の研修4、保育等情報公開・5、組織、運営 の5項目を重点に評価、検討の意見交換がなされた。学校評価委員より本園の保育内容や環境整備について園児の成長発達に即し適切である旨、評価がなされた。AEDの設置や防犯システムの導入、また門扉の改修も含め安全について継続的に取り組んでいる旨確認し、防犯、安全管理について評価がなされた。定期的に避難訓練を実施し子どもたちの防災への意識向上に繋がっている。園庭土質改良工事により砂塵が減少し、園児の健康面に配慮がなされている。教師の研究や公開保育の取り組みに保育の充実が感じられ、評価がなされた。組織、運営面では、教職員の諸規則が整備され働き方への意識向上に繋がっている。今後も保護者や学校施設関係者への情報提供、社会のニーズや保護者対応について計画的、組織的に取り組んでいくよう要望があった。

7、財務状況

公認会計士外部監査により、経営上適正に運営されていると認められている。